

両神山

メンバー 大野、加藤

2016年5月8日(日) 晴

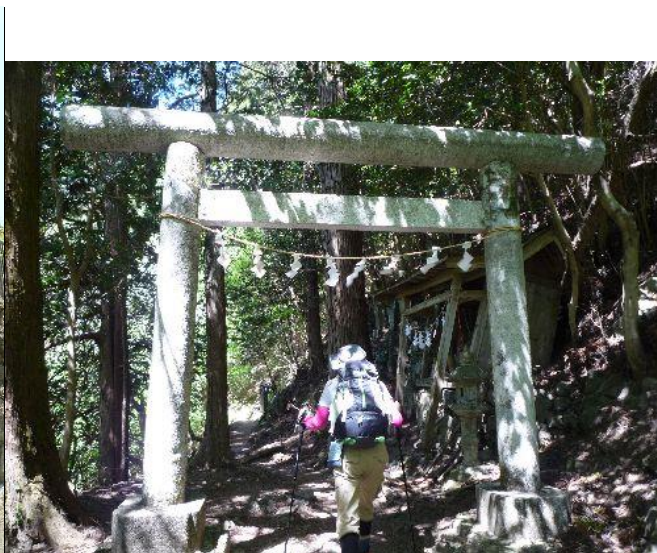
横浜自宅 5:00 池袋駅 6:50 (レッドアロー号) 西武秩父駅 8:12 お花畑駅 8:22 (秩父鉄道) 三峰口駅 8:45 三峰口駅バス停 8:55 (小鹿野町営バス) 日向大谷バス停登山口 9:50 会所 10:30 清滝小屋 12:00-10 両神神社 13:05 両神山 13:45-14:20 清滝小屋 15:10-20 日向大谷バス停登山口 16:35-17:20 (小鹿野町営バス・小鹿野町にてバス乗り換え) 西武秩父駅 19:25 (レッドアロー号) 池袋駅 20:45 横浜自宅 22:10

自宅から約4時間電車を乗り継ぎ三峰口駅に到着。大野さんと合流する。これから1時間程小鹿野町営の小型バス(¥400)に揺られてようやく登山口の日向大谷に到着。5時間をかけてのアプローチだ。お天気は上々でこの季節にしては暑い位だ。車も40~50台くらいは止まっているだろうか? やはり百名山の人気の山だ。バス停からいきなりの急な登りになる。



(三峰口駅前からは先日登った秩父御岳山が見える) (日向大谷バス停からの急な登り)

民宿の脇から登山道に入る。少し行くと鳥居が現れる。山全体が信仰の対象だ。



(山荘脇から登山道だ)

(鳥居が現れる)

山の斜面に作られた緩やかなトラバースルート行くと「会所」に到着。
七滝沢コースの分岐ともなっている。



(緩やかなトラバースルート)



(「会所」 七滝沢コースとの分岐点)

しばらく沢筋を捲きながら行くと、地名が「八海山」という場所に到着。仁王像が祭ってある。
ここから急な登りになる。



(八海山)



(仁王像)

苦しい登りをしばらく行くと、お助けの「弘法の井戸」が現れ、水が流れ出ている。
冷たい水を一口頂くと、元気が出てくる。



(弘法の井戸)



(弘法様が見守っています)

ここからもしばらく苦しい登りが続き、やがて清滝小屋が現れる。大きな花をつけたシャクナゲが出迎えてくれる。ここで昼食を摂る。



(清滝小屋)



(シャクナゲ)

清滝小屋の後ろからの登りがこれまた急だ。ジグザグにつけられた道を喘ぎながら登る。そして産泰(うぶたい) 尾根上に出たところで七滝沢コースと合流している。



(産泰尾根上に出たところ)

ここからいよいよ鎖場の登場だ。



(鎖場の登場です)

(ハシゴ段も出てきました)

両神神社に到着です。狛犬（オオカミ?）がかわいいですね。



(両神神社)

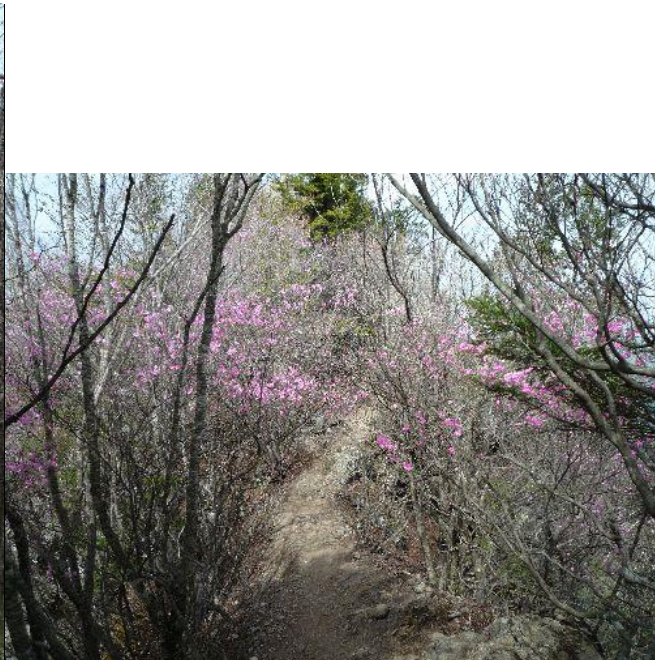


(狛犬)

両神神社から富士見坂の緩やかな稜線と行くと、アカヤシオツツジが色鮮やかに出迎えてくれる。



(アカヤシオツツジのお出迎え)



(アカヤシオツツジのトンネル)

頂上直下の岩場を過ぎると、いよいよ頂上に到着。



(頂上直下の岩場)



(両神山山頂)

頂上から四方の山並みが良く見えますね。

富士山、南アルプス、八が岳・・・など写真には写らない山々も見えます。



(南方向 雲取山、芋の木ドッケ)



(東方向 山の名前は???)



(手前のギザギザが八丁尾根)



(北方向 遠くの山の名前は???)

帰りは来た道に戻る。

日向大谷に到着後日向大谷バス停で50分ほど待ち、三峰口行の小鹿野町営小型バスに乗る。

小鹿野町の薬師の湯バス停で西武鉄道に乗るのに便利な西武秩父行きバスに乗り換え、大野さんは秩父鉄道に乗るためそのまま三峰口に向かい、ここでお別れする。

夜遅く帰宅し、一日が長い山行であった。